



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年2月2日

上場会社名 株式会社フォーラムエンジニアリング 上場取引所 東
 コード番号 7088 URL <https://www.forumeng.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 兼 広報・IR部 (氏名) 風間 直毅 TEL 03 (3560) 5505
 ゼネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 2023年2月3日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第3四半期の業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	21,474	6.9	1,017	△27.0	1,017	△26.1	691	△26.1
2022年3月期第3四半期	20,086	△4.6	1,393	△31.1	1,377	△31.6	936	△31.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	26.85	26.69
2022年3月期第3四半期	36.49	36.22

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	19,550	11,482	58.7
2022年3月期	20,768	11,974	57.7

（参考）自己資本 2023年3月期第3四半期 11,482百万円 2022年3月期 11,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	48.00	48.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期（予想）				50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,070	8.0	1,940	5.7	1,920	5.7	1,300	4.1	50.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	26,709,600株	2022年3月期	26,709,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	925,616株	2022年3月期	980,424株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	25,760,263株	2022年3月期3Q	25,671,590株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目から見て、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報等)	5
3. その他	5
継続企業の前提に関する重要事象等	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による行動制限が緩和され、景気は緩やかに持ち直しております。当社の主要顧客である大手製造業においては、不安定な世界情勢の影響による資源価格の高騰や半導体不足等による供給面での制約、急激な為替変動等により先行きが不透明な状況が継続する中、新型コロナウイルス感染症の影響により抑制されていたエンジニア採用再開の動きが顕著になっており、正社員エンジニア、派遣エンジニア共に求人需要が増加しております。

このような環境のもと、当第3四半期累計期間において、主力のエンジニア派遣サービスでは、求人広告の掲出や当社社員によるエンジニア社員紹介制度等、独自の採用施策を講じて派遣エンジニアの採用に注力してまいりました。この結果、当第3四半期累計期間末時点の稼働人員数、派遣単価は前年同期を上回り、稼働率は98.3%と高水準で推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。また、紹介事業においても、クロスセリング方式による営業活動を強化したことにより、業績に与える影響はまだ小さいものの、理工系学生に特化した機電系エンジニア就職支援サービス「コグナビ 新卒」を筆頭に、「コグナビ 転職/転職IT」、「コグナビ カレッジ」、「コグナビ タレントマネジメント」全てのサービスが前年同期比で増収となりました。

一方、主力のエンジニア派遣サービスにおいて売上総利益に寄与する当第3四半期累計期間の月平均稼働時間が前年同期比1.6時間減少したことや、派遣エンジニアの待機者数減少に伴う雇用調整助成金受給額の減少、及び、昨年夏のテレビCMを主軸としたマスプロモーションの実施等により、当第3四半期累計期間における営業利益は前年同期比で減益となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は21,474百万円(前年同期比6.9%増)、営業利益は1,017百万円(同27.0%減)、経常利益は1,017百万円(同26.1%減)、四半期純利益は691百万円(同26.1%減)となりました。

当社は、エンジニアのすべてのキャリアシーンを支援するために、理工系学生の就職支援から、転職、派遣、企業研修、社内異動の5つのサービスを展開しておりますが、収益成長を加速するため、今後は、経営資源を既存の収益源であり、高利益率を維持しているエンジニア派遣サービス、理工系学生の登録会員数の増加に伴い、第二の収益源として成長が見込まれる理工系学生向け機電系エンジニア就職支援サービス、及び、2022年10月に設立いたしましたインド法人Cognavi India Private Limitedを基点に、エンジニア需要の今後の飛躍的な増加と圧倒的な理工系学生数を有するインドにおけるジョブポータルサイトの開発・運営サービスの3つの分野に集中してまいります。また、販売費及び一般管理費につきましては、今後はマスプロモーション費や情報システム費等を削減し、売上高販管費率を下げることにより、売上高の成長をより営業利益の成長に結びつけるための収益構造を追求してまいります。

なお、当社はエンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は16,124百万円となり、前事業年度末に比べ1,234百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金が1,398百万円減少したことによるものであります。固定資産は3,426百万円となり、前事業年度末に比べ17百万円増加いたしました。これは、主に無形固定資産が53百万円減少した一方で、投資その他の資産が85百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は19,550百万円となり、前事業年度末に比べ1,217百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は8,067百万円となり、前事業年度末に比べ725百万円減少いたしました。これは、賞与引当金が799百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は8,067百万円となり、前事業年度末に比べ725百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は11,482百万円となり、前事業年度末に比べ492百万円減少いたしました。これは、主に配当金の支払いにより利益剰余金が543百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は58.7%(前事業年度末は57.7%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月2日の「通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,690	12,291
受取手形及び売掛金	3,531	3,614
その他	137	217
流動資産合計	17,359	16,124
固定資産		
有形固定資産	459	444
無形固定資産		
ソフトウェア	547	399
その他	840	934
無形固定資産合計	1,387	1,333
投資その他の資産	1,562	1,647
固定資産合計	3,408	3,426
資産合計	20,768	19,550
負債の部		
流動負債		
短期借入金	5,000	5,000
未払金	1,127	1,016
未払法人税等	153	76
賞与引当金	1,513	713
その他	999	1,261
流動負債合計	8,793	8,067
負債合計	8,793	8,067
純資産の部		
株主資本		
資本金	117	117
資本剰余金	129	129
利益剰余金	12,658	12,114
自己株式	△930	△878
株主資本合計	11,974	11,482
純資産合計	11,974	11,482
負債純資産合計	20,768	19,550

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	20,086	21,474
売上原価	14,125	15,158
売上総利益	5,960	6,316
販売費及び一般管理費	4,567	5,298
営業利益	1,393	1,017
営業外収益		
受取配当金	0	0
受取手数料	1	1
還付加算金	—	0
助成金収入	8	10
その他	0	0
営業外収益合計	10	12
営業外費用		
支払利息	9	9
シンジケートローン手数料	1	0
子会社設立費用	—	2
支払手数料	15	0
営業外費用合計	26	12
経常利益	1,377	1,017
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	1,377	1,017
法人税等	440	325
四半期純利益	936	691

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

当社は、エンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。